

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 19 年 2 月 8 日 (2007.2.8)

【公開番号】特開 2005-199397 (P2005-199397A)  
 【公開日】平成 17 年 7 月 28 日 (2005.7.28)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-029  
 【出願番号】特願 2004-9266 (P2004-9266)  
 【国際特許分類】

**B 2 5 C 1/08 (2006.01)**

【F I】

B 2 5 C 1/08

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 19 日 (2006.12.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ハウジングと、

該ハウジングの一端を覆い、燃料通路が形成されたヘッド部と、

該ハウジング内に固定して設けられたシリンダと、

該シリンダ内をピストン下室とピストン上室とに画成するピストンと、

該ヘッド部及び該ピストン上室と共に燃焼室を画成する燃焼室枠と、

該燃焼室内に回転可能に設けられモータにより回転するファンと、を備えた燃焼式動力工具において、

該ファンを形成する羽根のファン回転方向先端側羽根面のファン回転面に対する角度とファン回転方向後端側羽根面のファン回転面に対する角度とを略同一とすることを特徴とする燃焼式動力工具。

【請求項 2】

ハウジングと、

該ハウジングの一端を覆い、燃料通路が形成されたヘッド部と、

該ハウジング内に固定して設けられたシリンダと、

該シリンダ内をピストン下室とピストン上室とに画成するピストンと、

該ヘッド部及び該ピストン上室と共に燃焼室を画成する燃焼室枠と、

該燃焼室内に回転可能に設けられモータにより回転するファンと、を備えた燃焼式動力工具において、

該ファンを形成する羽根のファン回転方向先端側羽根面のファン回転面に対する角度をファン回転方向後端側羽根面のファン回転面に対する角度より大きくすることを特徴とする燃焼式動力工具。

【請求項 3】

ハウジングと、

該ハウジングの一端を覆い、燃料通路が形成されたヘッド部と、

該ハウジング内に固定して設けられたシリンダと、

該シリンダ内をピストン下室とピストン上室とに画成するピストンと、

該ヘッド部及び該ピストン上室と共に燃焼室を画成する燃焼室枠と、

該燃焼室内に回転可能に設けられモータにより回転するファンと、を備えた燃焼式動力

工具において、

該ファンを形成する羽根のファン回転方向先端側羽根面のファン回転面に対する角度を15度以上とすることを特徴とする燃焼式動力工具。

【請求項4】

ハウジングと、

該ハウジングの一端を覆い、燃料通路が形成されたヘッド部と、

該ハウジング内に固定して設けられたシリンダと、

該シリンダ内をピストン下室とピストン上室とに画成するピストンと、

該ヘッド部及び該ピストン上室と共に燃焼室を画成する燃焼室枠と、

該燃焼室内に回転可能に設けられモータにより回転するファンと、を備えた燃焼式動力工具において、

該ファンを形成する羽根に羽根面の表面から裏面に貫く貫通孔を穿設したことを特徴とする燃焼式動力工具。

【請求項5】

ハウジングと、

該ハウジングの一端を覆い、燃料通路が形成されたヘッド部と、

該ハウジング内に固定して設けられたシリンダと、

該シリンダ内をピストン下室とピストン上室とに画成するピストンと、

該ヘッド部及び該ピストン上室と共に燃焼室を画成する燃焼室枠と、

該燃焼室内に回転可能に設けられモータにより回転するファンと、を備えた燃焼式動力工具において、

該ファンを形成する羽根に突起物を付設したことを特徴とする燃焼式動力工具。

【請求項6】

ハウジングと、

該ハウジングの一端を覆い、燃料通路が形成されたヘッド部と、

該ハウジング内に固定して設けられたシリンダと、

該シリンダ内をピストン下室とピストン上室とに画成するピストンと、

該ヘッド部及び該ピストン上室と共に燃焼室を画成する燃焼室枠と、

該燃焼室内に回転可能に設けられモータにより回転するファンと、を備えた燃焼式動力工具において、

該ファンを形成する羽根の縁部に折曲部分を備えたことを特徴とする燃焼式動力工具。

【請求項7】

ハウジングと、

該ハウジングの一端を覆い、燃料通路が形成されたヘッド部と、

該ハウジング内に固定して設けられたシリンダと、

該シリンダ内をピストン下室とピストン上室とに画成するピストンと、

該ヘッド部及び該ピストン上室と共に燃焼室を画成する燃焼室枠と、

該燃焼室内に回転可能に設けられモータにより回転するファンと、を備えた燃焼式動力工具において、

該ファンを形成する羽根の枚数が6枚以上であることを特徴とする燃焼式動力工具。

【請求項8】

該ファンを形成する羽根の枚数が8枚以下であることを特徴とする請求項7に記載の燃焼式動力工具。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するために、ハウジングと、該ハウジングの一端を覆い、燃料通路が形

成されたヘッド部と、該ハウジング内に固定して設けられたシリンダと、該シリンダ内をピストン下室とピストン上室とに画成するピストンと、該ヘッド部及び該ピストン上室と共に燃焼室を画成する燃焼室枠と、該燃焼室内に回転可能に設けられモータにより回転するファンと、を備えた燃焼式動力工具において、該ファンを形成する羽根のファン回転方向先端側羽根面のファン回転面に対する角度とファン回転方向後端側羽根面のファン回転面に対する角度とを略同一とすることを特徴とする燃焼式動力工具を提供している。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、ハウジングと、該ハウジングの一端を覆い、燃料通路が形成されたヘッド部と、該ハウジング内に固定して設けられたシリンダと、該シリンダ内をピストン下室とピストン上室とに画成するピストンと、該ヘッド部及び該ピストン上室と共に燃焼室を画成する燃焼室枠と、該燃焼室内に回転可能に設けられモータにより回転するファンと、を備えた燃焼式動力工具において、該ファンを形成する羽根のファン回転方向先端側羽根面のファン回転面に対する角度をファン回転方向後端側羽根面のファン回転面に対する角度より大きくすることを特徴とする燃焼式動力工具でもよい。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、ハウジングと、該ハウジングの一端を覆い、燃料通路が形成されたヘッド部と、該ハウジング内に固定して設けられたシリンダと、該シリンダ内をピストン下室とピストン上室とに画成するピストンと、該ヘッド部及び該ピストン上室と共に燃焼室を画成する燃焼室枠と、該燃焼室内に回転可能に設けられモータにより回転するファンと、を備えた燃焼式動力工具において、該ファンを形成する羽根のファン回転方向先端側羽根面のファン回転面に対する角度を15度以上とすることを特徴とする燃焼式動力工具でもよい。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、ハウジングと、該ハウジングの一端を覆い、燃料通路が形成されたヘッド部と、該ハウジング内に固定して設けられたシリンダと、該シリンダ内をピストン下室とピストン上室とに画成するピストンと、該ヘッド部及び該ピストン上室と共に燃焼室を画成する燃焼室枠と、該燃焼室内に回転可能に設けられモータにより回転するファンと、を備えた燃焼式動力工具において、該ファンを形成する羽根に羽根面の表面から裏面に貫く貫通孔を穿設したことを特徴とする燃焼式動力工具でもよい。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、ハウジングと、該ハウジングの一端を覆い、燃料通路が形成されたヘッド部と、

該ハウジング内に固定して設けられたシリンダと、該シリンダ内をピストン下室とピストン上室とに画成するピストンと、該ヘッド部及び該ピストン上室と共に燃焼室を画成する燃焼室枠と、該燃焼室内に回転可能に設けられモータにより回転するファンと、を備えた燃焼式動力工具において、該ファンを形成する羽根に突起物を付設したことを特徴とする燃焼式動力工具でもよい。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また、ハウジングと、該ハウジングの一端を覆い、燃料通路が形成されたヘッド部と、該ハウジング内に固定して設けられたシリンダと、該シリンダ内をピストン下室とピストン上室とに画成するピストンと、該ヘッド部及び該ピストン上室と共に燃焼室を画成する燃焼室枠と、該燃焼室内に回転可能に設けられモータにより回転するファンと、を備えた燃焼式動力工具において、該ファンを形成する羽根の縁部に折曲部分を備えたことを特徴とする燃焼式動力工具でもよい。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、ハウジングと、該ハウジングの一端を覆い、燃料通路が形成されたヘッド部と、該ハウジング内に固定して設けられたシリンダと、該シリンダ内をピストン下室とピストン上室とに画成するピストンと、該ヘッド部及び該ピストン上室と共に燃焼室を画成する燃焼室枠と、該燃焼室内に回転可能に設けられモータにより回転するファンと、を備えた燃焼式動力工具において、該ファンを形成する羽根の枚数が6枚以上でもよい。また、該ファンを形成する羽根の枚数が8枚以下でもよい。